



第1次総合計画 基本構想について答申



八重瀬町総合開発審議会（神谷栄助会長）が8月19日、第1次総合計画基本構想案をまとめ中村信吉町長に答申を行いました。「大地の活力とうまんなちの魂が創り出す自然共生の清らまち」を町の将来像に掲げその実現に向けて①活気と潤いのある豊かなまち②自然と共生した安全・安心のまち③心の心で支えあう健康・福祉のまち④いのちを育む教育文化のまち、など6つの基本目標を柱に掲げています。

神谷会長は「地方自治の立場に立った協働の精神でつくる町民が主役のまちづくりを推進することを期待します」と話しました。中村町長からは、「計画を基に町が一体となって信頼関係を築くことが大切。子どもから大人までが夢を描けるまちづくりのため、今後も指導をお願いしたい」と話しました。

新百歳 神谷カメさん祝福

敬老の日の9月15日、「新百歳長寿者の慶祝訪問」が行われ、中村信吉町長が新百歳を迎えられた神谷カメさん宅を訪問し、長寿を祝い健康を願いました。慶祝訪問では、内閣総理大臣からの銀杯や県知事、八重瀬町長からの記念品や祝金が贈られ神谷さんは、「ありがとう」と笑顔を見せ喜んでいました。

神谷さんは、明治41年12月28日、当時の東風平村字志多伯に生まれ、昭和2年に神谷徳重さんと結婚。6男5女の子どもを授かりました。現在では、孫37名、ひ孫43名、ひしゃご4名に囲まれ元気に過ごしています。

その日、神谷さん宅には、親族をはじめ区長さんや老人会の代表者など多くの方が訪問し、新百歳の記念を祝福していました。



人材育成基金造成チャリティゴルフ大会



八重瀬町の発展の基盤となる人材育成の基金造成を目的としたチャリティゴルフ大会が8月29日ザ・サザンリンクスリゾートで行われ236名が参加しました。当日は、晴天にも恵まれ参加者らは、お互いの親睦も深めながらゴルフ大会を楽しんでいました。

大会後には、具志頭改善センターで表彰式もとり行われ、サザンリンクスから自転車やゴルフクラブセットなど豪華景品が用意され大いに盛り上がりました。

大会の参加料で得た収益金からは、100万円を町人材育成基金に充てることのできました。今後の人材育成の事業に活用させていただきます。



港川フィッシャー遺跡 町指定史跡に向けて



仲井真広多知事と仲村守和県教育長が9月10日、港川人が発見された字長毛の採石場跡にある港川フィッシャー遺跡を視察で訪問しました。同遺跡からは、18、000年前の人骨化石や動物化石が発見されており、日本人のルーツの解明をする上で貴重な場所として位置づけられています。新垣清徳教育長から港川人について説明を受けた仲井真知事は、「文化遺跡やこれからの学問を学ぶ上で意味深い場所。県教育委員会を中心に国指定に向けてしっかりと後押しをしたい」と話しました。それを受けて町教育委員会では、県とともに港川フィッシャー周辺地域の地権者と交渉しながら年度内に町指定史跡にする方針です。

具志頭幼稚園 夏祭り

長い夏休みを「家庭保育」「預かり保育」で別々に過ごしている友達との久しぶりの再会を楽しませたいと具志頭幼稚園夏祭りが8月8日、具志頭幼稚園で行われました。

毎年恒例になりつつある幼稚園夏祭りは、園児、家族、その知人、友人の参加で約200名近くの人出で賑わいました。

昨年に比べさらに工夫を重ねた祭りには、PTAのアイデアを取り入れた遊びコーナーや食べ物、飲み物、かき氷など多くの催しが用意され、子ども、大人一緒になって楽しみました。



高知県・八重瀬町 児童生徒の友好深める

高知県の児童生徒及び関係者が8月21日から23日まで沖縄県を訪問し八重瀬町の生徒たちと交流を深めました。八重瀬町が高知県香南市と姉妹提携を結んでいることから毎年交互に児童生徒の派遣を行い、交歓交流事業を開催しています。

八重瀬町からは、町内の子ども会から募集した児童生徒15名が参加して高知県の児童らとバーベキューや沖縄観光を通してお互い打ち解け合い交流事業を楽しんでいました。



汗水節の心を行動にボランティア活動頑張ったよ



「汗水節の心を行動に」をテーマにボランティア活動を通して自分の住む地域をきれいにしようという具志頭幼稚園は、8月22日、幼稚園周辺の清掃活動を行いました。登園時や散歩時に歩道に捨てられているゴミの多さに驚き、何とかきれいにしたいという思いから企画しました。その日は、具志頭幼稚園から大頓にかけて507号線沿に落ちている空き缶やゴミを拾いました。清掃活動に汗を流した後は、頑張ったご褒美にと大頓にある「沖縄そば処やぎや」で食事を取り園児たちは、大喜び。地域美化に関心を持たせるとともに頑張った喜びを感じさせることができる有意義な保育事業となりました。